

毎月19日は「食育の日」です！

～みんなでできることから取り組みましょう。～

さくらがおか保育園では、四季を通じて野菜の栽培や収穫体験を行い、また給食を通して子どもたちに「食の大切さ」を伝えています。



保育園の給食

給食は毎日展示をし、人気の高いメニューはレシピの配布を行っております。

毎月行われる誕生日会の日は給食も特別メニューで、季節や絵本をモチーフにした給食を提供しており、子ども達も大喜びです。

秋のやきいも会

秋には、保育園で育てたさつまいもで焼き芋会をしました。土の中から大きな芋が出てくると、子ども達からは大歓声！

焼き芋を焼いているときから子ども達は「おいしいに、おいがするよ！」と大興奮。もちろん焼きたてのさつまいもは甘く、おかわりもたくさんしたのは言うまでもありません。さつまいもの蔓はクリスマスのリースにして、食材を余すことなく使用しました。



野菜の栽培と収穫

さくらがおか保育園では、夏と冬の2期に野菜の栽培と収穫をします。今年は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、様々な食育活動も制限せざるを得ませんでした。そうした中、野菜の種が芽吹き成長し、実った野菜を食べる体験をできたことは、子ども達にとって貴重な経験でした。

盛岡市では、平成30年3月に第三次盛岡市食育推進計画を策定し、毎月6月と10月を「もりおか食育月間」、毎月19日を「食育の日」と制定しています。

「食育で進めるもりおかの豊かな暮らしと健康づくり」を目標として市民総参加の食育を推進しています。